

消費生活メモ

「無料」のはずが6万円
**廃品回収サービスの
 トラブル**

「無料」とアナウンスしながらトラックで巡回している業者を呼び止め、廃品回収を依頼した。作業前に無料であることを確認したが、不用品を軽トラックに積み終えたときに6万円を請求された。話が違うと抗議したが「回収代金は無料だが、積み込み料金は発生する」と言われた。しつこく請求されたので、仕方なく手持ちの3千円だけ支払った。残金は近いうちに取りに行くと言われたが、支払わなければいけないのか。領収証もないし、業者の住所や電話番号もわからない。(60歳代女性)

▼「無料回収」をうたって巡回している廃品回収業者に依頼しても、積み込み時に料金を請求されるケースがあるので、全てが無料なのか事前に確認

品にしよう。粗大ごみや不用品の処分は、各市町村のルールに従って行いましょう。処分については不明な点がある際は、市町村に確認しましょう。一般廃棄物の収集・運搬は市町村の許可を受けた事業者しか行えません。安易に廃品回収業者に処分を依頼することは、トラブルとなる場合もあるので避けましょう。困ったときは、消費生活センター等にご相談ください。

消費生活に関するトラブルのご相談は枕崎市消費生活センター(市役所内)または消費者ホットライン「188」まで。
 TEL72-1111(内線329)
 ※8:30~12:00、13:00~17:15

Dr.市來の健康よもやま話

心不全について ②

心不全も、他の病気と一緒に、早期発見や予防が重要です。心不全の診断や心疾患の発見のためには、心電図や胸部X線、心エコーの検査等が行われます。

心エコーの検査は、胸の表面に特殊なゼリーを塗って超音波で心臓の中をみる検査です。横になっている間に終わり、痛みを伴うような検査ではありません。心エコーの検査は、市立病院をはじめ、主に循環器内科の先生がいる病院で受けることができます。高血圧の治療歴が長い方や、動いた時の息切れが出てきた方、足のむくみが出てきた方など、1度心エコーも含めた検査を受けることをお勧めします。



さて、先月号でお話しました家族旅行の続きですが、私は眠りから目覚めると、母親に抱っこされて駅の中にいました。宮崎駅だと思いましたが、何と西鹿児島駅(現在の鹿児島中央駅)の中でした。結局、宮崎には行かず、駅構内の食堂で夕食を食べて、自宅に戻ったのでした…。何を食べたかは、どうしても思い出せません。その2年後ぐらいに父親の愛車は中古車へ買い替えることとなり、お役御免となりました。懐かしくも悲しいお話でした。

次回からは、睡眠時無呼吸症候群についてのお話です。

三島村への医療支援を始めました

市立病院では、明治28年の「黒島流れ」で遭難者の救出に力を尽くしていただいた三島村の方々へ医療分野での貢献策として、4月から医療支援を行っています。三島村には、竹島へき地診療所、硫黄島へき地診療所、大里診療所(黒島)、黒島へき地診療所の4つの診療所があります。診療所には看護師はいるものの、常勤の医師がおらず、鹿児島市内の病院の医師が月2回の巡回診療を行っている状況です。今回の医療支援で島に医師がいる日数が増えることは何より安心ということです。4月、5月は硫黄島で診療を行いました。今後も三島村の医療の確保を図るため、月1回の医療支援を続けていく予定です。



南溟館 イベント情報

開 9:00 ~ 17:00
 ※入館は16:30まで
 休 毎週月曜日
 ※月曜日が祝祭日の場合は翌日
 問 TEL72-9998

■臨時休館
 7月17日(日)まで

南溟館アートマーケット

手芸、陶芸、木工等、作家さんたちのオリジナル作品が展示・販売されます。アートに気軽に触れてください。

●日時 7月24日(日) 午前10時~午後4時 ※小雨決行
 ●場所 南溟館パフォーマンス広場等

石とふれあうワークショップを開催

石を素材に立体作品を作ってみませんか。夏休みの課題

参加者募集

作りにも最適。一般の方も参加できますので、南溟館まで申込みください。

●日時 8月20日(土) 午前9時~午後4時(途中、昼食休憩を取ります) ※荒天のみ中止

●場所 南溟館
 ●講師 八田隆さん(彫刻家・アートストリート作品制作者)

●対象 小学校高学年(5・6年生)以上
 ●定員 20名
 ●参加料 1,000円(石、ペン

キ、筆、缶(水とき)の代金)

●準備するもの 昼食(昼食は帰宅でも可)、飲み物、動きやすい服装、帽子、タオル等(材料、道具は主催者側で準備します)

●申込締切 8月17日(水) 午後3時まで

●申込み 南溟館 TEL72-9998

新刊紹介

一般書



カンタン、かわいい! 親子で楽しむ手形アート
 やまざき さちえ(著)



ディズニー キセキの神様が教えてくれたこと
 鎌田 洋(著)



若様とロマン
 島中 恵(著)

児童書



このあとどうしちやおう
 ヨシタケ シンスケ(作)



ズートピア
 スーザン・フランス(作) 橋高 弓枝(訳)



なぞなぞはじまるよ
 おおなり 修司(なぞなぞ文) 高島 純(絵)

イベント

子ども図書館まつりを開催

開催日 7月23日(土)
 内容・時間
 ・映画大会 午前10時~正午
 ・おはなし会 午後2時~3時
 ・工作教室 午後3時30分~4時30分

~読書感想文のお手伝い「読書感想文を楽しく書こう」

読書感想文を楽しく書くための教室を開催します。
 ※感想文に書く本は、あらかじめ読んでおいてください。
 日時 8月2日(火) 午後2時~4時
 講師 立石富男さん(鹿屋市立図書館長)
 対象 小学生(3年生以下は保護者同伴)
 募集人数 20名程度(先着順)
 申込方法 参加希望者は、市立図書館まで電話でお申し込みください。
 申込先 市立図書館 TEL72-9254

地域包括ケア推進課
 地域包括支援センター
 TEL72-1111(内線463)

なるほど!
地域包括ケア
 Vol.2
 住み慣れた家・地域で安心して暮らし続けたいから

認知症について考えてみませんか?

皆さんは認知症について考えたことがありますか。認知症は、単なるもの忘れではなく病気のひとつです。認知症ともいわれるには次のような違いがあります。

- 夕飯の献立を忘れる
- 約束した日時を忘れる など
- 認知症(体験したことそのものを忘れる)
- 夕飯を食べたことを忘れる
- 約束したこと自体を忘れる など

「認知症サポーター」になってみませんか

「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解し、できる範囲で認知症の人や家族を応援する人のことです。

市では、認知症サポーターを1人でも増やし、安心して暮らせるまちをみんなで作って

- 地域包括支援センターや認知症疾患医療センター
- 地域の居宅介護支援事業所のケアマネージャー
- 認知症介護に取り組んでいる小規模多機能居宅介護事業所や認知症グループホーム
- かかりつけ医
- 地域包括支援センターや認知症疾患医療センター
- 地域の居宅介護支援事業所のケアマネージャー

不安に思ったら、まず相談を
 認知症の症状には個人差があり、その人の状態に応じた医療や介護のサービスが必要です。認知症に対し、不安に思うことがあったら家族だけで悩まず、次のような機関に相談をしましょう。

認知症の人や家族を支えるために



▲枕崎警察署での「認知症サポーター養成講座」の様子

地域包括支援センターや関係機関が連携し、介護に関する質問や相談などを受けける介護相談会、家族交流会を計画しています。関心のある方は、ぜひご参加ください。

※詳細については、本紙折込チラシをご覧ください。

くため、市内の介護や医療の現場で働く「認知症キアラバンク」の方を講師に「認知症サポーター養成講座」を開催しています。どなたでも受講できますので、受講希望の地域や職場等がありましたら、地域包括支援センターまでご連絡ください。

図書館だより

No.291

市立図書館 TEL 72-9254
 ホームページ <http://library.makurazakinet>
 ★開館時間 9:30~18:00

カレンダー 7月11日~8月9日

日	月	火	水	木	金	土
	7月	11	12	13	14	15
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	8月	1	2	3	4	5
7	8	9				

休館日 ☆ イベント